

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス リリー		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 12日		2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2026年 1月 31日		2026年 2月 3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団療育活動のプログラムが豊富	半年は同じ内容の集団療育活動は設定しない。 偏りなく狙いを定めてプログラムを考案しています。 集団療育活動内で児童による目標設定を行っています。	ソーシャルスキルトレーニングをいかに楽しく取り組める集団療育活動にするかを、チームで考えていく。
2	多機能型事業所で未就学児と小学生の異年齢交流	年上のお友達が年下のお友達に優しい接し方ができるように伝え方の見本を示し、年下のお友達は年上のお友達のように挑戦してみる気になる声掛けを行っています。	役割を与えることでの責任感を育みたい。 年齢差による感情や行動のコントロールが難しい児童の対応の仕方を、研修により支援力を向上させる。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館など、地域の子どもの交流機会が少ない。	未就学児と小学生を連れての課外活動に必要な人員配置が難しい。	保護者様の要望などをお聞きしながら、交流方法を検討していきます。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス リリー
------	-----------------------

公表日 2026年 2月 28日

利用児童数 15

回収数 15

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14		1		屋外活動が増える则有難く感じます。	屋外活動ができる工夫を検討していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11	1		3		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	1		3	本棚は低い位置にある為、本に目がいきやすく、手に取りやすい位置であり、机も座りやすい高さで作業がやりやすそうが良い。	今後も年齢や身体の違いに合わせて、子どもたちが視覚的にも分かりやすく動作をルーティン化できるような環境を整えていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子どもの活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	1		2	絵や表、行事に合わせてざりつけがされているので、明るく、分かりやすいです。/マットレスや背の高さにあったテーブル、ベビーガードや安心して過ごせる環境だと思います。	今後も清掃や消毒など衛生面を抜かりなく行えるように日々確認していきます。集団療育や個別課題の内容によって、活動スペースや学習スペース、二階訓練室を活用していきます。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等にに応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	2		4	行動面で、こだわりや、落ち着きなど改善が見られ、切り替えが早くなった。/見守る時は見守る。声かけのタイミングを気にされてると思います。/まだ具体的に結果が分かりません。	特性理解研修、事例検討会議を実施します。成長につながった対応や環境の整え方をお伝えしていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13			2		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12			3		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	1		2	支援を受ける前には、難しかった事が、少しずつできるようになってきていると思います。/支援計画や親からの依頼にしっかり向き合ってくれていると思います。/送迎時により細かいフィードバックがあると嬉しいです。(どんな問題に当たり、どのように解決したのか)/あまり、こちらが気になる部分がリリーで出ていないイメージです。	普段から、お子様の様子や課題を共有してくださる保護者様が多く、支援に活かすことができている。より具体的なお話しができるよう家族支援の取り入れ方を検討します。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12			3	いろいろな角度から、子供がやってみようと思う内容で、楽しみながら子供の成長につながっていると思います。	今後も、同じ曜日に偏りがないように気を付けて、子どもたちが積極的に参加したくなるような集団療育活動の企画を考えていきます。
11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	5	1	2	7	小学校だけでなく、色々な地域の子供との交流や活動する機会を増やして頂きたいです。	外部からの参加が可能な園のイベントや参加できる地域のイベントがあるか情報入手に努めます。	
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	1	3	3	家族支援プログラムや家族も参加できるイベントに参加していきたい。	次回の療育参観の時期を検討しています。外部のペアレント・トレーニング研修会の情報があれば共有していきます。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12	3			毎回、れんらく帳に活動の中での子供の様子を書いて頂けるので、分かりやすいです。/自宅と事業所で見せる姿が違うので、自宅での困り事を見つけて解決できるような活動・声かけをしてほしい。	連絡帳にお子様のご様子を記入して下さったり、送迎時にお話して下さる保護者様が多く、教室からもご利用児の様子をお伝えし共通理解を深めていけたらと思います。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	2		1	個人的に話しにくい事も色々質問できるので、面談の場を作って頂ける事はうれしいです。	今後も半年ごとの個別支援計画更新面談、保護者様からのご要望により随時面談を行っています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	1		3		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7		2	6	保護者同士の交流の機会を設けて頂けるとありがたいと思います。以前の交流の中で、沢山の発見があり、とても意味があった為。	12月の保護者会は土曜日に開催したので、次回開催曜日を検討中です。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13			2	幼稚園での子供の行動について相談させて頂いた事がありました。その時も色々アドバイスして頂き、どのように寄り添えばよいか教えて頂きました。/迅速に対応して下さいます。	改めて各種サービス加算について周知をおこない、相談しやすい環境を作っていく。今後も相談のご予約受け入れを継続していきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	1			送迎がバタバタになり、もう少しフィードバックがほしかったという時があります。	送迎時の駐車場や車内にいる児童対応、送迎順などの対策を検討し、フィードバックの時間確保に努めます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	1		4		今回の自己評価結果をホームページにて公表することを毎月配布する用紙にてお知らせします。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14		1			個人情報の取り扱いについて全職員で共通理解を図り、漏洩などのないよう細心の注意を払っていく。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11			4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	1		5		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12			3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	1		1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14	1			自分の事を分かってくれている人が沢山いる中で、活動できる事が大切だと思いました。/先生方には安心感があると思います。	子どもたちが安心して過ごせる居場所となるよう、スタッフの支援力向上に努めます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	2		2	同年代だけでなく、違う年齢の子供と一緒に活動できる事ですごく刺激をもらっている。/楽しみにしています。	今後も、楽しみながら成長できる支援を行います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	3			家庭ではどう寄り添っていけばよいのだろうと迷う事が多く、つらい事もあったが、支援により子供も親も気持ち的に楽になり、子供にあったペースで生活できていると思います。/課題設定と進捗についてもう少し多く話し合える機会を設けていただきたいです。	ガイドラインに基づく「発達支援」「家族支援」「地域支援」を提供できるよう、支援の質を高めていきます。保護者様とお話できる時間をとれるよう、家族支援の周知を行い、予約受け入れの仕組みを作ります。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス リリー		公表日		2026年 2月 28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		法令基準内を満たしている。1階訓練室には活動スペースと学習スペースがあり、2階にも訓練室がある。	学習スペースの棚やテーブルについて、定員数に合わせた工夫を検討中。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		基準の人員配置以上の加配を行っている。	送迎業務と教室支援の重なる時間帯の配置数の増員。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		階段があるため柵を付けて対策している。主として使用している訓練室内はトイレ・洗面所もバリアフリーとなっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		日々の清掃業務の徹底と玩具などの消毒、感染症予防も強化し空気清浄機なども念入りに掃除しています。	整理整頓・玩具などの破損確認を行う。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		クールダウンが必要な時や個別で運動を行う時は2階訓練室を使う。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		ミーティングで個別課題や集団療育活動の目標を共有している。送迎後に振り返りを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			設立が2024年11月のため今年度から評価表実施。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		業務の効率化や、児童の対応など意見を出し合う風土作りができています。適宜面談実施。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7	第三者による外部評価は受けていません。	今後、必要に応じて実施を検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		教室内研修により理解を深めることができている。	今後も支援力を向上させる教室内研修を行い、特性への理解を深めていく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		ホームページにて支援プログラムを公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		面談で保護者様から得た情報をもとに事業所で提供できる内容の個別支援計画を作成している。	今後も更新期限を遵守した個別支援計画更新面談を実施して、保護者様と児童の成長につながる個別支援計画を作成していく。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		個別支援計画策定会議で、職員に支援について聞き取りを行っているため、個別支援計画の内容は周知のもと支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		標準化されたアセスメントシートを活用している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		5領域に基づいた目標と支援内容で本人支援を設定し、家族支援や地域支援での連携も設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		常勤職員がそれぞれ企画を持ち合い、集団療育活動の月間スケジュールを組んでいる。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		半年は同じ活動を設定しない。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		未就学児と小学生との来室時間や学習課題の違いに合わせて、個別課題と集団活動の目標設定を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		出勤時間が異なり、児童発達支援のお迎えが早いため、時間を取るのが難しいなか、少ない時間でも打合せを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		その日の出来事や送迎時の申し送りなど、送迎後に共有しあっている。	パート勤務職員への共有の仕方を考案中。

関係機関や保護者との連携	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		個別支援計画の目標と支援内容を確認しながら、その日の様子を療育記録に記入している。	
	23	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		モニタリングを行い、職員が共通理解のもと、評価や情報共有を行っている。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児童発達支援管理責任者が会議に参加している。	児童指導員も支援に参加できるようになるとよい。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		必要に応じて関係者と連携を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		入学前や入学後に園や学校と連携するご希望を受けて、保育園と関係機関連携会議を行っている。	入学後に学校側との連携を図っていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			強度行動障害研修に参加した。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			地域の社会福祉協議会が開催する子ども部会に参加し、児童発達支援センター監修の研修を受けている。	児童発達支援責任者以外のスタッフも参加できるとよい。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7			
保護者への説明等	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		7	課外活動で音楽療法に参加し、事業所以外の子どもたちと一緒に活動している。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7		連絡帳での情報共有と、送迎時に児童の様子をお伝えしたり、ご家庭での様子をお聞きしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7			研修の情報提供を行う。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		相談支援員と連携し、保護者と面談で希望・意向を確認している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		配布時に目標や支援内容の説明を行っている。	送迎時の限られた時間で説明の場合、工夫が必要。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			保護者様が定期的に相談できるように、家族支援の周知を行う。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		12月に保護者会を開催し、次回開催希望の声をいただいている。	12月は土曜日で開催したが、別の曜日での開催を検討する。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		送迎時や連絡帳による相談に迅速に対応し、必要に応じて家族支援の場を設けている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	2	個人情報記載書類は鍵付き書庫で管理、廃棄書類はシュレッダーを使用。写真の漏洩事故に関して厳重注意と緊急会議を行い再発防止に努める。	個人情報の取り扱いについて全職員で共通理解を図り、漏洩などのないよう細心の注意を払っていく。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		地域の学生ボランティアを受け入れている。	

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		各種マニュアルを策定している。各曜日に災害別避難訓練を行っている。	職員とマニュアルの確認を行う。避難訓練の様子を連絡帳や送迎時にお伝えする。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		BCPを策定している。	職員と実際に避難場所を確認する。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		契約時の健康調査票にご記入いただいている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		契約時の健康調査票にご記入いただいている。医師の指示書に基づく対応が必要な児童はいないが、アレルギー表を作成して確認し	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットの視点をもつスタッフが多い。	ヒヤリハットに気づいても口頭での共有で終わることもある。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		ガイドラインで定められた年に2回以上の虐待防止研修を実施している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7			個別支援計画のフォーマットに身体拘束に関する緊急時対応欄を作成。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス リリー		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 12日		2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2026年 1月 31日		2026年 2月 3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団療育活動のプログラムが豊富	半年は同じ内容の集団療育活動は設定しない。 偏りなく狙いを定めてプログラムを考案しています。 集団療育活動内で児童による目標設定を行っています。	ソーシャルスキルトレーニングをいかに楽しく取り組める集団療育活動にするかを、チームで考えていく。
2	多機能型事業所で未就学児と小学生の異年齢交流	年上のお友達が年下のお友達に優しい接し方ができるように伝え方の見本を示し、年下のお友達は年上のお友達のように挑戦してみる気になる声掛けを行っています。	役割を与えることでの責任感を育みたい。 年齢差による感情や行動のコントロールが難しい児童の対応の仕方を、研修により支援力を向上させる。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館など、地域の子どもの交流機会が少ない。	未就学児と小学生を連れての課外活動に必要な人員配置が難しい。	保護者様の要望などをお聞きしながら、交流方法を検討していきます。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス リリー

公表日 2026年2月27日

利用児童数 9名

回収数 9名

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	2				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	1				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8		1			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8	1				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9				子どもが飽きないような毎日違う活動を行っていただいているのでありがたいです。	今後も、同じ曜日に偏りがないように気を付けて、子どもたちが積極的に参加したくなるような集団療育活動の企画を考えていきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	1	2	2		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8		1			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	9					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8		1		対応に悩んでいる時などとても安心して相談ができます。	定期的な相談予約を受けられるよう、お声かけをしていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	1	1	1	保護者会(前回)はとてもよかったので、12月に開催した療育参観・保護者会にご参加いただいた方から二回目のご希望をいただいているので、次回開催日を検討中です。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	1	1			ご契約時に説明しサービス内容確認のサインもいただいているが、改めて各種サービス加算について周知をおこない、相談しやすい環境を作っていく。
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9				いつも丁寧に情報を伝えてくれてます。	今後も送迎時や面談、家族支援相談、連絡帳、lineなどご様子をお伝えしていきます。	

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8		1		写真楽しみにしています。	登録数が増え、児童の安全な環境を優先しているので撮影回数が減っていますが、可能な限り頑張っている姿や楽しんでいる姿をお届けします。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7	1		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8			1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8			1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8			1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9					
	29	事業所の支援に満足していますか。	9				さまざまな支援プログラムを計画し、日々行って下さることにも感謝しています。	引き続き、保護者様と連携をとりながら、子どもたちの成長につながる支援を行います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス リリー				公表日	2026年 2月 27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		法令基準内を満たしている。1階訓練室には活動スペースと学習スペースがあり、2階にも訓練室がある。	学習スペースの棚やテーブルについて、定員数に合わせた工夫を検討中。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		基準の人員配置以上の加配を行っている。	送迎業務と教室支援の重なる時間帯の配置数の増員。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		階段があるため柵を付けて対策している。主として使用している訓練室内はトイレ・洗面所もバリアフリーとなっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		日々の清掃業務の徹底と玩具などの消毒、感染症予防も強化し空気清浄機なども念入りに掃除しています。	整理整頓・玩具などの破損確認を行う。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		クールダウンが必要な時や個別で運動を行う時は2階訓練室を使う。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		ミーティングで個別課題や集団療育活動の目標を共有している。送迎後に振り返りを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		7		設力が2024年11月のため今年度から評価表実施。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		業務の効率化や、児童の対応など意見を出し合う風土作りができています。適宜面談実施。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7	第三者による外部評価は受けていません。	今後、必要に応じて実施を検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		教室研修により理解を深めることができている。	今後も支援力を向上させる教室研修を行い、特性への理解を深めていく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		ホームページにて支援プログラムを公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		面談で保護者様から得た情報をもとに事業所で提供できる内容の個別支援計画を作成している。	今後も更新期限を遵守した個別支援計画更新面談を実施して、保護者様と児童の成長につながる個別支援計画を作成していく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		個別支援計画策定会議を行い、職員の意見を聞き取ったり、日々ご利用児童の個別支援計画を確認しながら療育記録を記入している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		標準化されたアセスメントシートを活用している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		5領域に基づいた目標と支援内容で本人支援を設定し、家族支援や地域支援での連携も設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		常勤職員がそれぞれ企画を持ち合い、集団療育活動の月間スケジュールを組んでいる。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		半年は同じ活動を設定しない。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		未就学児と小学生との来室時間や学習課題の違いに合わせて、個別課題と集団活動の目標設定を行っている。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		出勤時間が異なり、児童発達支援のお迎えが早い ため、時間を取るのが難しいなか、少ない時間でも打合せを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		その日の出来事や送迎時の申し送りなど、送迎後に共有しあっている。	パート勤務職員への共有の仕方を考案中。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		個別支援計画の目標と支援内容を確認しながら、その日の様子を療育記録に記入している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		モニタリングを行い、職員が共通理解のもと、評価や情報共有を行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7			4つの基本活動「地域交流活動」の支援提供に工夫が必要。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		おやつや、自由時間の過ごし方を自分で選んでいる。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児童発達支援管理責任者が参画している。	児童指導員も会議に参加できるようになるとよい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		お迎えの時にその日の様子をお伺いしたり、行事や下校時刻の確認を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		卒所した児童はいない。今後障害福祉サービス事業所に移行する場合は保護者様了承のもと情報を提供する。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7		地域の社会福祉協議会が開催する子ども部会に参加し、児童発達支援センター監修の研修を受けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	7		課外活動で音楽療法に参加し、事業所以外の子どもたちと一緒に活動している。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7		参加している。	児童発達支援責任者以外のスタッフも参加できるとよい。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		連絡帳での情報共有と、送迎時に児童の様子をお伝えしたり、ご家庭での様子をお聞きしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7			研修の情報提供を行う。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		相談支援員と連携し、保護者と面談で希望・意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		配布時に目標や支援内容の説明を行っている。	送迎時の限られた時間で説明の場合、工夫が必要。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		送迎時や連絡帳による相談に迅速に対応し、必要に応じて家族支援の場を設けている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7		12月に保護者会を開催し、次回開催希望の声をいただいている。	12月は土曜日に開催したが、別の曜日での開催を検討する。
41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		契約時に重要事項説明書にて苦情があった場合の対応について説明している。		

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		毎月の集団療育活動やイベントの案内を利用予定表に記載して配布している。	子どもへの発信方法を検討する必要がある。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	2	個人情報記載書類は鍵付き書庫で管理、廃棄書類はシュレッターを使用。写真の漏洩事故に関して厳重注意と緊急会議を行い再発防止に努める。	個人情報の取り扱いについて全職員で共通理解を図り、漏洩などのないよう細心の注意を払っていく。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		地域の学生ボランティアを受け入れている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		各種マニュアルを策定している。各曜日に災害別避難訓練を行っている。	職員とマニュアルの確認を行う。避難訓練の様子を連絡帳や送迎時にお伝えする。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		BCPを策定している。	職員と実際に避難場所を確認する。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		契約時の健康調査票にご記入いただいている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		契約時の健康調査票にご記入いただいている。医師の指示書に基づく対応が必要な児童はいないが、アレルギー表を作成して確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットの視点をもつスタッフが多い。	ヒヤリハットに気づいても口頭での共有で終わることもある。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		ガイドラインで定められた年に2回以上の虐待防止研修を実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7			個別支援計画のフォーマットに身体拘束に関する緊急時対応欄を作成。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス リリー		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 20日		～ 2024年 1月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2026年 1月 31日		～ 2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	2026年 1月 20日		～ 2026年 1月 24日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	1	(回答数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育に入っている支援者が、保育園に行き事業所での様子を伝えることで、本人の情報共有がしやすくなりました。本人を取り巻く環境把握がしやすくなることで統一した支援につなげやすくなっています。	訪問先に行って戻った際には、報告書を事業所内で閲覧し情報共有を行っています。	余裕を持ったスケジュールで訪問し、訪問先の先生方と情報共有が出来るよう取り組みたいと思います。
2			
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員の人数が少なく、訪問希望の日程調整や新規の受け入れに制限が来ています。	訪問指導員の業務負担の軽減と人員補充が必要だと感じます。	今後、訪問先の担当者や関係機関と、本人を取り巻く環境での情報共有と支援内容の統一、確認が出来るようすすめていきたいと思っています。
2			
3			

公表 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス リリー

2026年 2月 28

公表日 日

利用児童数 1

回収数 1

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教員教材が整えられていますか。				1		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。				1		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。		1				
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	1					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。				1		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。				1		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。		1				
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。				1		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。				1		
保 護 者 へ の 説 明 等	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	1					
	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。		1				
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。			1			
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	1					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。				1		
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1					
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1					
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	1					
非 常 時 等 の 対 応	21 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	1					
	22 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	1					
	23 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。				1		
	24 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。			1			
	25 事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	1					
満 足 度	26 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。				1		
	27 こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	1					
	28 事業所の支援に満足していますか。		1				

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス リリー

公表日 2026年 2月 28日

利用児童数 1 回収数 1

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
児童発達支援・放課後サービス リリー		2024年 2月 28日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
業 体 制 整 備	1 訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	2			
	2 利用希望者に対して、職員の手配数は適切であるか。	2			
	3 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2			
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2			
	5 従事者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2			
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2			
	7 職務の改善の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	2			
重 点 な 支 援 の 提 供	8 療育の観点に対してアセスメントを適切に行い、こどもや保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2			
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどものニーズや課題を踏まえた検討が行われているか。	2			
	10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の出発点と連携し、訪問先施設や担任等の意向を踏まえているか。	2			
	11 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2			
	12 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2			
	13 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の実施内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2			
	14 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2			
	15 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2			
	16 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2			
	17 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援方法を尊重して支援を行っているか。	2			
	18 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2			
	19 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しを必要と判断し、適切な見直しを行っているか。	2			
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2			
	21 地域の保健・医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2			
	22 随学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2			
	23 親の向上を図るため、随時的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2			
	24 (自立支援)協議会(こども部会や地域の子ども・子育て会議等)積極的に参加しているか。	2			
	25 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2			
	26 家庭の対応力の向上を図る観点から、家庭に対して家庭支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家庭等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	27 運営規程、利用規約等について丁寧な説明を行っているか。	2			
	28 訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2			
	29 保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの意思の優先考慮の観点から、こどもや保護者の意向を尊重する機会を設けているか。	2			
	30 「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2			
	31 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、必要な助言や支援を行っているか。	2			
	32 父母の会の活動や支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2			
	33 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に通知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2			
	34 定期的に連絡等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動履歴や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2			
	35 個人情報等の取扱いに十分留意しているか。	2			
	36 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2			
	訪 問 先 施 設 へ の 展 開	37 訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に対応する体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2		
38 保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。		2			
39 保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。		2			
40 個人情報の取扱いに十分留意しているか。		2			
41 訪問先施設からの相談に適切に対応し、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。		2			
非 常 時 態 度 の 対 応	42 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2			
	43 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他の必要研修を講じる等、安全管理が十分な状態で実施されているか。	2			
	44 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2			
	45 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切に対応しているか。	2			
	46 どのような場合に代わりの養育施設を行うかについて、明確に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2			